

三心を磨く

学校だより No. 10

令和3年12月27日(月)発行

須崎市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

登校日数87日二学期を終えて

二学期終業式より

校長先生の話

令和3年も残すところ4日となり、登校日数87日の2学期が、本日をもって終業します。皆さん一人一人、先生方一人一人、全てのかげがえのない命が欠けることなく今日を迎えられたことを何よりもうれしく思います。

先ほど、3名の皆さんが学年を代表して今学期の振り返りと来学期の抱負を発表してくれました。

発表を聞いていて印象に残ったキーワードがいくつかありました。「受け継ぐ」「渡す」「協力」「毎日」「繋ぐ」「目標」「経験」「責任」「計画」です。3人はそれぞれ異なる内容の発表をしてくれたのですが、キーワードを取り出すと、不思議と関連する言葉だということが分かります。「受け継ぐ」「渡す」は「繋ぐ」ことであり「協力」に通じます。「目標」は、「毎日」の「計画」と、「責任」を伴う「経験」の積み重ねがあってこそ実現できるものです。そう考えると、学びの大切なエッセンスが満ちあふれていた発表といえます。

ところで、2週間くらい前のことです。校長室に一人の生徒がやってきました。聞いてほしいことがあるというのです。その生徒は、あることについて、「やらなければいけないことは分かっている」「自分からやりたいんだ」「だから、先生たちには、すぐにやりなさいと言わないでほしい」と言うのです。私が「忘れた時はどうするの？」と尋ねると、「友達が教えてくれる」と答えました。更に「友達が気づかなかったときはどうするの？」と尋ね、そのときの対応についてその生徒と相談しました。

私たち教師あるいは大人は、皆さん一人一人の未来を思い、よかれと思って声をかけます。しかし、校長室に尋ねてきた生徒の思いを考えると、先回りしすぎて声かけをしていることがあるのだということに改めて学ばされました。

東中の学校目標は「三心自立」であることは、ここにいる全員が知っていますが、校長室に尋ねてきた生徒は、まさに、「自立」を求めての行動だったのでしょうか。とてもすばらしいことです。おそらく皆さんも、同じように、相手や事柄は違っても、同じような思いを抱いた経験があるのではないのでしょうか。大事なことは、「自立」を求める思いを、「自分はどうしたいのか、どうしてほしいのか」と言葉で相手に伝えることです。先生や親、上級生や友達に対しても、言葉でしっかり思いを伝えることが大事なのです。少なくとも、東中の全ての先生方は、あなたが伝えてきた思いをしっかり受け止めて、一緒に考えてくれます。安心して、思いを伝えてください。



そして、もう一つ大事なことがあります。それは先ほどのキーワードと関係します。「自分はこうしたい」と言葉にして伝えたからには、自分の言葉に「責任」を持つということです。「こうしたい」という「目標」を実現させるために、「毎日」それを実行する「経験」を重ねるのです。「自立」を求める思いを言葉にして伝え、「責任」を持って実行することが、本当の「自立」につながるのです。

ここで、ウォルター・D・ウォルトンという人の「思い」という詩を紹介します。

もし自分でだめだと思えば、だめになってしまう。
しかし、自分は違うんだと思えば、頑張ることもできる。
勝ちたいのだが、勝てそうもないと思えば、十中八九は勝てない。
初めから負けると思っていれば、絶対に勝つことはできない。

この世のことに限らず、成功、不成功はすべて人の思いから始まる。
すべては思い次第である。
この世にはその第一歩を踏み出す前から敗れているレース、仕事にかかる前から失敗している臆病者が何と多いことか。

大きな思いは行いを向上させ、小さい思いは人を委縮させる。
自分に何ができ、何をしたいのか。すべては人の思い次第である。

自分を優れた者と思えば、そのようになる。
自分を高めるには、そのような思いを抱かなければならなくなる。
賞を得たいと思えば、自分にまずその確信がなければならない。

人生の戦いは、必ずしも強い者、早い者が勝つのではない。
最後の勝利者となるのは、いつも自分にはできると考えている人である。

明日から10日間の休みです。古来から日本人はこの年末年始を大事な節目として生かしてきました。皆さんも先ほどの詩のように「思い」をしっかり持ち、それを言葉にして、自立への一步を踏み出してほしいと思います。それが皆さんにとっての大事な節目です。1月7日の始業式には、全員が、かけがえのない命を守り、新たな希望を抱いて元気に登校してくれることを願っています。

最後に校長からの宿題です。「思考・判断・表現力鍛錬道場」のクラスルームに課題を投稿しました。東中、東地区に関わりの深い山岸右京という人物について、調べてください。ネットで調べることは可能ですが、多くの情報は期待できません。東中を卒業した家族や親戚の人、地域の方から聞き取り調査するのがおすすめです。50才くらい以上の方に聞くとよいと思われれます。ひょっとすると山岸右京に関わる冊子が家にある人もいるかもしれません。

それでは、よいお年を迎えてください。おわります。

生徒の所感発表

2学期を振り返って

僕が2学期でがんばったことは、大きく3つあります。

まずは東祭です。中学校での初めての東祭で、不安や緊張、そしてどのようになるのか楽しみな気持ちがありました。

大縄飛びでは、ジャンプするタイミングを合わせることが難しく、縄にひっかからないようにジャンプするのにみんなで息を合わせて挑戦しました。

リレーでは、バトンをもらうときに走ってくる人との速さを合わせることが意識して取り組みました。本番ではバトンを落とすこと無く受け継いで、次の人に渡せたので良かったです。このように、みんなで協力することで東祭が大成功し、僕は東祭を楽しむことができたのでよかったです。

2つ目は部活動です。

僕は先輩のようになりたくてたくさん練習してきました。

2・3年生の先輩たちは、試合に出て他校の選手に勝ち、すばらしい成績を残しています。僕も先輩たちのようになりたいと思っていました。

しかし僕には、練習内容もレベルが高くて、先輩と同じ内容の練習をするにはまだまだ足りないことが多くありました。早く先輩のような技術に追いつけるようにこれからも練習を頑張っていきたいです。

3学期では、みんなで協力することを大切にしながら学校生活も部活動も頑張っていきたいです。

1年1組

2学期の振り返りと3学期に向けて

私は、2学期特に頑張ったことが2つあります。

1つ目は勉強です。2学期は、学習内容が1学期よりも難しくなってきました。今回の2学期の期末テストでは、1学期のテストよりも高い点数を取りたかったので、効率の良い勉強法を友だちに聞き、テスト勉強に励みました。その結果、前回のテストよりも点数を上げることができました。ですが、自分が目標にしていた点数には届きませんでした。私は、今回のテストで、「日頃からの勉強が大切」だということを実感しました。反省を生かしてこれからは、英語のスペルミスや数学の計算ミスをなくすために、毎日の単語練習や計算練習をしていきたいです。

2つ目は、学年を超えたあいさつです。私は、あいさつは大切だと思っています。あいさつは、人と人とを繋ぐことができるからです。1学期では、学年を超えたあいさつがあまりできませんでした。ですが2学期は、自分から積極的にあいさつができたので良かったです。3学期も続けていきたいです。

部活動では、3学期のはじめにアンサンブルコンテストがあります。金賞を取ることを目標に、音の強弱や音色などに気をつけて演奏し、練習に励みたいです。チーム一丸となって、目標を達成できるように頑張ります。

2年2組

思い出とこれからの目標

長い2学期も今日で最後となりました。長かったと感じる人や短かったと感じる人もいますが、僕にとっては、あっという間の2学期でした。それはたくさんの経験を通して充実した時間を過ごすこと

ができたからです。

まず僕がもっと頑張った活動は生徒会活動です。その中でも二学期前半には、生徒会最大の行事ともいえる「東祭」がありました。今年は生徒会役員として「東祭」の企画と運営に力を入れて頑張りました。実際に「東祭」が始まる2ヶ月前の一学期から役員の皆と協力しながら計画を立てていたのですが、例年のようにうまく進められるか不安に思った時もありました。また思い通りにいかずつまづくこともありました。生徒会役員の皆が助けてくれたことと全校の皆さんの協力のおかげで無事「東祭」を行うことができました。「東祭」以外でも町別生徒会の活動や書記局の活動に責任をもって取り組めたと胸を張って言えます。

次に、印象に残ったことは「修学旅行」です。今年は新型コロナウイルスの影響で京都・奈良に行くことはできなかったのですが、長野県の魅力を改めて知ることができました。家族旅行とは違い友達と旅行に行くということも大きな魅力の一つでした。「上高地の河童橋」など初めて訪れた場所もあったので、とても楽しかったです。良い思い出になりました。

最後は二学期の反省とそれを踏まえて年末年始休業に頑張りたいことです。二学期の反省は主に学習時間配分があまりうまくできなかったことです。自分なりに学習時間を取れていたと思いますが、つい得意な教科が疎かになってしまう時もありました。これらを改善するために年末年始休業では計画をしっかり立てて苦手な教科を少しでも力を付けていきたいと思います。本当ならこたつに入って寝正月を過ごしたいですが、受験生となることを選んだのは自分なので、あとわずかの期間、受験までの見通しを持ちながら必ず目標を達成させたいです。

この作文を書いて改めて二学期の思い出や活動はたくさんあったことに気づくことができました。とても充実した二学期を過ごせました。そして明日からは気持ちを切り替えて目標に向かって頑張っていきます。

3年2組

回収活動へのご協力ありがとうございます。

資源回収や定期的に行っている生徒会の回収活動（ミニ資源回収・アルミ缶回収）の収益の中間報告です。生徒会費（今年度は、「Nagano SDGs project」への寄付金を含む）、生徒手帳代、卒業証書ホルダー代、須坂荘への車椅子等の寄贈、周年記念行事の積立金に活用させていただきました。

なお、詳細については、PTA 総会にて会計報告させていただきます。

資源回収収益 中間報告

回	月日	回収品名	収益
1	3月30日	古紙(雑誌)・ダンボール	円
2	4月30日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール・牛乳パック	円
3	5月11日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール	円
4	6月21日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール・牛乳パック	円
5	7月16日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール・牛乳パック	円
6	8月21日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール・牛乳パック	円
7	10月5日	新聞・古紙(雑誌)・ダンボール・牛乳パック	円
		合計	円

回	月日	回収品名	収益
1	8月21日	ビン・アルミ缶	円
		総合計	円



10月19日(火)須坂荘へ「車椅子」「歩行器」の贈呈式が行われました。学校を代表して学校長、JRC委員会正副委員長が出席しました。

34年間続く「東中と須坂荘との交流」



昭和62年4月(須坂荘の開所は昭和61年10月)に「地域にご尽力いただいた大先輩の須坂荘の入所者の皆さん方々のために」と願い始まった「東中と須坂荘との交流」は今年で34年目となります。

スタート当時から続けてきた清掃、入所者の方々との会話などの交流については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために昨年度、今年度は、中止となりましたが、平成8年から始めた「電動ベッド」や「車イス」などの贈呈については、交流の一環として続け今日に至ります。

この長年続けてきた「須坂荘との交流」が評価され、東中学校が県より「社会福祉功労者表彰」を受けました。12月10日(金)学校長・JRC交流委員会正副委員長が代表で県庁での表彰式に参加してきました。

11月・12月の学校の様子から



避難訓練 (11月5日)



読書週間レブリカバトル (11月11日)



自作弁当の日 (11月15日)



アズマワーカーガーデン片付け (11月17日)



生徒会三役選挙 (11月22日)



川崎昭仁さん講演会 (12月8日)



生徒総会 (12月16日)

中学校授業体験～仁礼小・豊丘小の6年生が授業体験～

12月17日(金) 来年度、本校に入学予定の仁礼小・豊丘小の6年生が、「授業体験」にやってきました。中学校の授業体験を通して、「中学校の授業のイメージをもつ」、「仁礼小・豊丘小の交流」を目的に行いました。本年度は「国語」・「社会」の2つの授業のどちらかを選択し、学習しました。



授業は、少し自分で考えてたり、みんなで話す時間が多くありました。授業の時間が長いからというのがあると思うけど、みんなで考える時間が多くて、行書の書き方がよく分かりました。やってみると形をとるのがとても難しかったけど、できるとかっこいいと思いました。



体験授業では、社会をやりました。授業内容は「鬼って何」ということについて調べました。普段全然考えないことだったので、何かを考えるのは、難しかったです。でも資料を見て、どんな事が分かるか・どんなことが考えられるかを考えることで、いろんな意見が出てきました。それに、仁礼小学校の人たちもいることで、人数が多く、「確かに～。そういう意見もあるな。」というふうに、いろんな意見が聞けたのでとても楽しかったです。自分で資料を見てやったり、大人数の意見も聞けたりできてよかったです。

また、体験授業後、「校長講話」が行われ、6年生に向けて、超スマート社会(Society 5.0)のPR動画を視聴し、AIによって変わる近未来の生活をイメージしたり、GIGAスクール構想「1人1台タブレット」の東中の取組も紹介したりしながら、これから時代で「求められる力」や正解が1つではない問題を「追究、考えること」を大切にしたい話がありました。

校長先生の話聞いて思ったことは、中学生になったら、いろんなことが始まることと知りました。例えば、近代未来についてやりました。まずは、ある動画を見ました。それには、今はないすごい機械があり、ドローンや、AIが動く未来が見えました。実際に授業でもドローンを使ったプログラミングの授業もやっていました。でもそうすると、人がやることなくなくなってきてしまいます。そんなことにならないために、三つのことが大事だと知りました。それは、情報力・情報処理力・基礎的人間力が大事だとわかりました。三つには深い意味があり、今もこれからも大事にしたいなと思いました。早く中学生になって、授業や部活、委員会活動などのいろんなことに挑戦していきたいです。



明日より年末・年始休業となります。感染症予防に心がけ、生活リズムを整え、事故やケガのない、休みをお過ごしください。

なお、休み中、インフルエンザ感染、新型コロナウイルス感染や疑い、濃厚接触の指摘、また心配なこと、ご相談がありましたら

28日(火)、4日(火)～6日(木) 8:30～16:30 (TEL) 245-2342

上記以外の期間は、市役所の代表番号(245-1400)へお願いします。

または、休業期間の相談窓口となる専用のメール soudan@azuma-school.ed.jp までご連絡ください。

それでは、よいお年をお迎えください。